

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	33	下水道
基本方針		
安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
污水管などの長寿命化事業	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
雨水管の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
災害時マンホールトイレの整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
公営企業会計への移行	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
マンホールカードの制作と配布	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
羽村駅西口土地区画整理事業地区の公共下水道の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策33「下水道」では、6事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)として評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努める」ことであり、「污水管の長寿命化事業」では、污水管内面補修やマンホール蓋などの老朽化した施設について、計画的な更新を実施することで、公共下水道施設の長寿命化及び適切な維持管理を図ったほか、「公営企業会計への移行」においては、地方公営企業法の規定に基づき、令和2年度から公営企業会計に移行するための準備を着実に進めており、平成30年度は、固定資産評価、建設請負費の集計及び整理を実施、公営企業会計システムの導入、例規改正に向けた検討、職員研修など当初に掲げた活動計画を計画どおり実施し、次年度につながる成果を上げており、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 汚水管などの長寿命化事業		年				
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	33	下水道	管理No.	158

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	「羽村市下水道総合計画」、「公共下水道マンホール蓋更新基本計画(長寿命化基本計画)」に沿い、TVカメラを活用した汚水管の点検やマンホール蓋の更新など、予防保全型の維持管理を計画的に行うことで、下水道施設の長寿命化を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	社会資本総合計画

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	マンホール蓋の更新 40箇所	同左 100箇所	同左 100箇所	同左 100箇所
	汚水管の長寿命化 汚水管TVカメラ調査委託 20.0km	同左 20.0km	同左 20.0km	同左 20.0km
	汚水管内面補修工事 21.2km	同左 20.0km	同左 20.0km	同左 20.0km

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	人	30 H	人	40 H	人	40 H
主事・主任職	1人	120 H	人	105 H	人	120 H	人	120 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	100,440	165,714	144,553	144,553
人件費(係長職)	199			
人件費(主任・主事職)	400			
総事業費(合計)	101,039	165,714	144,553	144,553
国庫支出金		9,350	9,600	9,600
都支出金		467	480	480
受益者負担額				
その他特定財源	89,340	75,397	64,473	64,473
一般会計繰入金				
起債	11,100	80,500	70,000	70,000
一般財源(人件費含む)	599			
財源内訳(合計)	101,039	165,714	144,553	144,553

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

<p>【マンホール蓋の更新】 【長寿命化更新工事】 契約:平成30年11月5日・工期:平成30年11月6日～平成31年2月28日</p> <p>【污水管の長寿命化】 【污水管TV調査】 契約:平成30年7月4日・工期:平成30年7月5日～平成30年12月12日</p> <p>【污水管内面補修工事】 契約:平成30年7月11日・工期:平成30年7月12日～平成31年3月15日</p>

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	165,714		165,714	152,160	91.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	22 H
主事・主任職	1人	105 H	1人	100 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<p>○マンホール蓋の更新 100箇所</p> <p>○污水管TVカメラ調査委託 20.0km</p> <p>○污水管内面補修工事 20.0km</p>	<p>○マンホール蓋の更新 100箇所</p> <p>○污水管TVカメラ調査委託 20.0km</p> <p>○污水管内面補修工事 20.0km</p>

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<p>妥(必)性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	A
<p>効(手)率) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	A
<p>有(成)効) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</p>	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

污水管内面補修やマンホール蓋などの老朽化した施設について、計画的な更新を実施することで、公共下水道施設の長寿命化及び適切な維持管理を図ることができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

平成25年度に策定した、羽村市下水道マンホール蓋更新基本計画(長寿命化基本計画)における、平成25年度から平成29年度までの計画的更新が完了したことから、平成30年度に新たに平成32年度までの更新計画を策定し、継続的に耐用年数が経過しているマンホール蓋347箇所の更新を進めて行く。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 雨水管の整備		年				
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	33	下水道	管理No.	159

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	局地的な豪雨などによる浸水に対応できるよう公共下水道雨水管の整備を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	多摩川第8排水分区雨水管 布設工事 市道2073、2095号線工事 羽西一丁目雨水管布設工事 実施設計 雨水管整備計画の検討 整備率54.6%	同左 市道2017、2022号線工事 羽西一丁目雨水管布設工 事 多摩川第6排水分区等雨水 管布設工事実施設計 雨水管整備計画の策定 整備率54.9%	多摩川第6排水分区雨水管 布設工事 市道2004号線工事 整備率54.9%	雨水管整備計画に基づく雨 水管布設工事を実施 整備率55.0%

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75 H	人	75 H	人	75 H	人	75 H
主事・主任職	1人	85 H	人	85 H	人	85 H	人	85 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	25,348	72,756	19,092	19,092
人件費(係長職)	373			
人件費(主任・主事職)	283			
総事業費(合計)	26,004	72,756	19,092	19,092
国庫支出金				
都支出金	292	465	292	292
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	1,756	11,591		
起債	23,300	60,700	18,800	18,800
一般財源(人件費含む)	656			
財源内訳(合計)	26,004	72,756	19,092	19,092

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

【平成30年度羽村市公共下水道多摩川第8排水分区等雨水管布設工事(緑ヶ丘5丁目)】
 契約:平成30年11月5日・工期:平成30年11月6日～平成31年2月8日

【羽西一丁目雨水管布設工事】
 契約:平成30年12月4日・工期:平成30年12月5日～平成31年3月25日

【平成30年度羽村市公共下水道多摩川第6排水分区等雨水管布設工事実施設計委託】
 契約:平成30年11月26日・工期:平成30年11月27日～平成31年3月25日

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	72,756		72,756	72,425	99.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75 H	1人	72 H
主事・主任職	1人	85 H	1人	88 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○雨水管布設工事2件 ○雨水管布設工事実施設計1件 ○雨水管整備計画の策定 【整備率 54.8%】	○雨水管布設工事2件の完了 ○雨水管布設工事実施設計1件の完了 ○雨水管整備計画の策定完了 【整備率 54.7%】

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

目標どおり効率的に雨水管を整備することで、安全で安心な住みよいまちづくりに貢献できた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

平成27年度に事業認可を受けた平成28年度からの5か年(5箇所)の雨水管整備が令和2年度をもって期間満了となるため、平成30年度に新たに5か年(5箇所)の整備箇所を選定し、令和2年度に事業認可変更を得て計画的に雨水管の整備を継続していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 災害時マンホールトイレの整備		28年	その他	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		防災安全課				
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	33	下水道	管理No.	160

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	災害時の福祉避難所となる公共施設に仮設トイレ用汚水柵を設置します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	災害時仮設トイレ用 汚水柵設置工事 中央児童館 5基	同左 東児童館 4基 平成32年度以降の設置 場所検討	同左 いこいの里 5基	同左 設置場所未定 5基

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	20H	人	20H	人	20H	人	20H
主事・主任職	1人	40H	人	40H	人	40H	人	40H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	5,487	5,940	5,500	5,500
人件費(係長職)	100			
人件費(主任・主事職)	134			
総事業費(合計)	5,721	5,940	5,500	5,500
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債	5,487	5,900	5,500	5,500
一般財源(人件費含む)	234	40		
財源内訳(合計)	5,721	5,940	5,500	5,500

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

【災害時仮設トイレ用汚水柵設置工事 東児童館】
 契約:平成30年6月12日・工期:平成30年6月13日～平成30年7月25日

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	5,940		5,940	5,670	95.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	20 H	1人	20 H
主事・主任職	人	40 H	1人	40 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○東児童館 4基	○東児童館(駐車場) 4基

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 法 性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 果 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

災害時に有効な施設となるマンホールトイレ用の汚水柵を設置することで、安全で安心な住みよいまちに
 必要な整備を行うことができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村市地域防災計画に基づき、平成28年度からは、災害時に福祉避難所となる施設への設置を進めて
 おり、引き続き「いこいの里」、「西児童館」に設置を計画している。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道業務課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 公営企業会計への移行		28年	その他	自治事務	業務委託(一部)	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	33	下水道	管理No.	161

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	地方公営企業法の規定に基づき、平成32年度から公営企業会計に移行し、経営成績や財政状態を把握することで、事業を計画的・効率的に実施し、施設整備の選択や工事コストの縮減に努め、安定的な運営と一層の経営の健全化を図ります。
根拠法令	地方公営企業法
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	公営企業会計への移行に伴う資産調査・評価及び準備	同左 公営企業会計システム導入 例規等の整備	公営企業会計への移行に伴う準備 公営企業会計システム運用 同左	公営企業会計への移行 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	108H	1人	108H	1人	108H	1人	120H
主事・主任職	1人	108H	1人	108H	1人	108H	1人	120H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	11,448	13,275	13,563	420
人件費(係長職)	537	537	537	597
人件費(主任・主事職)	360	360	360	400
総事業費(合計)	12,345	14,172	14,460	1,417
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	12,345	14,172	14,460	1,417
財源内訳(合計)	12,345	14,172	14,460	1,417

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

- 法適用移行支援業務委託事業者との打合せ(年5回)
- 固定資産台帳作成の手法の確認
- 公営企業会計システム導入の契約及び委託事業者との打合せ(年3回)
- 地方公営企業法適用後の勘定科目(案)作成、会計システムのテスト運用
- 上下水道部職員を対象とした職員研修の実施
- 庁内関係部署との打合せ(総務課、財政課、会計課)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	13,275		13,275	13,112	98.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	108 H	1人	108 H
主事・主任職	1人	108 H	1人	108 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ○固定資産調査・評価及び準備 ○公営企業会計システムの導入 ○例規等の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ○固定資産調査・評価の実施 ○公営企業会計システムの導入(7月~9月) ○例規等の整備(関係例規の洗い出し実施)

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

安定した下水道事業経営を継続していくため、地方公営企業法の規定に基づき、令和2年度から公営企業会計に移行するための準備を着実に進めている。平成30年度は、固定資産評価、建設請負費の集計及び整理を実施、公営企業会計システムの導入、例規改正に向けた検討、職員研修など当初に掲げた活動計画を計画どおり実施し、次年度につながる成果を上げている。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

令和元年度は、地方公営企業法適用に向けた準備の最終年度となり、職員間の情報共有を徹底し、例規整備、予算編成事務など関係部署との調整を図り、業務に遺漏のないよう確実に実施していくとともに、公金収納事務を行う金融機関との契約に向けた調整会議を実施する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道業務課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 マンホールカードの制作と配布		28年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	33	下水道	管理No.	162

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	下水道のイメージアップ、下水道機能や役割を知ってもらうための広報ツールとして、下水道広報プラットフォームが企画・監修するマンホール蓋のコレクションアイテム「マンホールカード」を当市のデザインマンホール蓋においても制作し、配布する。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	マンホールカードの配布 (羽村の堰と桜) 1,978枚配布 (平成29年12月末現在)	同左 (羽村の堰と桜)	同左	同左
	マンホールカードの制作・配布 (羽村市動物公園とチューリップ) 1,124枚配布 (平成29年12月末現在)	マンホールカードの配布 (羽村市動物公園とチューリップ)	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	1人	10H	1人	12H	1人	12H	1人	12H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	38	76	76	76
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	34	40	40	40
総事業費(合計)	72	116	116	116
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	72	116	116	116
財源内訳(合計)	72	116	116	116

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 2 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

○第3弾マンホールカード「羽村の堰と桜」を水道事務所窓口で配布(H31年3月末現在 3,718枚)
 ○第6弾マンホールカード「羽村市動物公園とチューリップ」を動物公園で配布(H31年3月末現在 4,618枚)
 ○平成31年度に向けて第3弾マンホールカード「羽村の堰と桜」の配布場所について、水道事務所から郷土博物館への変更を検討した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	76		76	38	50.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	1人	12 H	1人	12 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○マンホールカードの配布 第3弾・1枚目・羽村の堰と桜 第6弾・2枚目・羽村市動物公園とチューリップ ○配布場所の検討 水道事務所から別の施設での配布の検討	⇒ ○マンホールカードの配布枚数(年度末現在) 1枚目・羽村の堰と桜:3,718枚 2枚目・羽村市動物公園とチューリップ:4,618枚 ○配布場所を郷土博物館への変更を検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法率) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

下水道のイメージアップ、下水道機能や役割を知ってもらうための広報ツールとして、全国統一の様式で一定のルールを基準に配布するもので、コレクションアイテムとして人気も高い。メディアなどでも取り上げる機会があり、認知度は高いものと考えている。現在、水道事務所と動物公園で配布しており、その場所で1人1枚、手渡しする統一ルールのもとで配布を行っており、羽村市を訪れるきっかけの一つとなっている。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

現在、水道事務所及び動物公園で配布を行っているが、第3弾マンホールカード「羽村の堰と桜」の配布場所を、土日祝日が開館となっている羽村市郷土博物館で配布を行うよう調整を図る。
 動物公園と郷土博物館の2か所でマンホールカードを配布することにより、マンホールカードを入手した観光客やマンホールカードコレクターが、実物のデザインマンホール蓋を探しながら市内を散策できるコース設定を関係部署と調整していく。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	羽村駅西口土地区画整理事業地区の公共下水道の整備		年			
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課		区画整理推進課、区画整理総務課				
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	33	下水道	管理No.	163

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	土地区画整理事業の進捗にあわせ、公共下水道の整備を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせた公共下水道整備工事 区画道路第6、7、8号 污水管・雨水管整備	同左 雨水管布設	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	-	17,312	-	-
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	50	17,362	50	50
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		17,312		
起債				
一般財源(人件費含む)	50	50	50	50
財源内訳(合計)	50	17,362	50	50

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

【工事に関する業務委託】
 契約:平成30年8月22日 工期:平成30年8月23日～平成31年3月31日

【10号雨水管布設工事】(羽村駅前周辺)
 契約:平成30年9月25日 工期:平成30年9月26日～平成31年2月25日

【11号雨水管布設工事】(川崎一丁目エリア)
 契約:平成30年11月2日 工期:平成30年11月5日～平成31年2月27日

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	17,312		17,312	7,103	41.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
工事に関する委託 ○10号雨水管布設工事 ○11号雨水管布設工事	工事に関する委託 ○10号雨水管布設工事 ○11号雨水管布設工事

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 要 性 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 法 性 性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 果 性 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

羽村駅西口土地区画整理事業にあわせて、公共下水道の雨水管整備事業を実施した。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせて、公共下水道の雨水管整備を実施していく。